

3

Vol.12

第14期

2024年

在住協通信

JTA 一般社団法人 日本在来工法住宅協会
Japan Traditional Wooden Home Association

伝統の技術を未来へ。

Interview File no. 07

会員インタビュー

高橋屋根工業株式会社

代表取締役

高橋 一美 さん

取締役副社長

榎 芳彦 さん



今月号の見出し

- ・ 会員インタビュー
- ・ 教育現場訪問レポート
- ・ 新規会員様のご紹介
- ・ 在住協事務局便り
- ・ お知らせ
事業継続計画 (BCP)
オンラインセミナー開催



Zaijyu Kyoko's Pickup!

会員インタビュー

みなさまこんにちは！在住協通信のナビゲーター 在住協子です。

(ざいじゅうきょうこ)

今回は、宮城県石巻市の高橋屋根工業株式会社の高橋社長と仙台支部長であり、在住協の監事も務める榎副社長にお話を伺いました。

後世につなぐため東日本大震災の遺構が残されている石巻市。改めて訪れるべき場所だと感じました。「震災後はみんなの親切でやってこれたんですよ」と揃って語られる姿が強く胸に残りました。



従業員25名と初詣へ。様々な専門資格を持つ40-50代のベテラン技能者18名が在籍。震災の頃から共に働く20-30代(5名)も活躍中です。

笑顔・挨拶・思いやりを忘れずに

1950年に曾祖父が創業。コンクリート瓦の製造・工事などを展開し、お父様が1977年に高橋屋根工業(株)として法人化。2017年には経産省の「はばたく中小企業・小規模事業者300社」と「地域未来けん引企業」に選出されました。「地域のためにも会社を残したい」という強い思いで2018年に社長に就任。「社長業を学びつつ、長く勤める社員が安心して働ける環境を第一に、いつも笑顔でいるよう心掛けています」(高橋さん)



インタビュー中も常に明るい笑顔

37年間 自分が最後の“砦”となり現場に臨む

高校卒業後、進学を断念し、親戚の縁でバイトとして就業。体を使う仕事が面白くなり、20歳で仙台営業所を任せられます。同時に先代社長から「夜間大学さ行ってみね？」と提案され見事合格。日中は仕事をし、夜間は経済学部で4年間学びました。「受験当日は先代が駆けつけ、かつ丼をご馳走してくれました。とても男気のある人でした」(榎さん)。瓦の雨仕舞を読み、難しい現場から営業まで一手に引き受ける“覚悟”が印象的でした。



瓦屋根工事技士などの免許も全て取得

3.11 石巻市立大川小学校を訪ねて

榎さんのご案内で、震災で児童と教職員計84人が亡くなった大川小学校を訪ねました。「13年経っても、復興したのかその境目はわかりません」と榎さん。



(24/2/7撮影)

▼石巻市震災遺構HP



「石巻での学びが皆さんの明日(未来)へとつながるきっかけになりますように」との思いで、震災遺構が整備・公開されています。

歴史的建造物の復元工事も担当

発災後是不休でブルーシートをかけ、延べ2,000棟の屋根を復旧。中には6年待ちのお客様も。「今でもブルーシートの備蓄をしっかりと確保しています」と高橋さん。



旧石巻ハリストス正教会教会堂
1880年に建設された、現存する日本最古の木造教会堂。1980年に有形文化財に登録。大きな被害を受けた震災後、屋根工事を担当。2018年10月に復元工事が完了しました。

技術・技能者“教育現場訪問レポート”

東京都世田谷区にある「東京都立総合工科高等学校 定時制課程（総工）」へ訪問しました。1学年で基礎科目を学び、2学年から建築・電気・自動車の専門コースを選択。建築コースでは、玉掛け技能講習などの資格取得に挑戦できます。一人一人にあわせた「面倒見の良い総工」の教育が営まれています。



建具の溝加工もノミで制作 (24/1/30撮影)



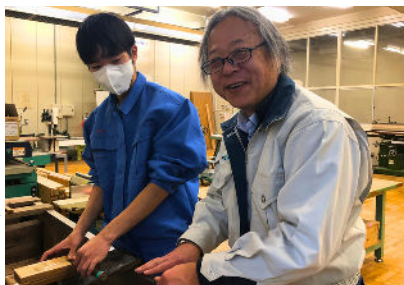
校舎外観



ホリウム満点の給食

＜一日の時間割＞	
17:00-17:40	給食
17:45-18:30	1時限目
18:35-19:20	2時限目
19:25-20:10	3時限目
20:15-21:00	4時限目

定時制課程は、基本的に4学年制。15～20歳くらいまでの生徒が日中バイトをし、資格取得費用も自己管理しながら切磋琢磨しています。



学ぶ楽しさを育む建築コースの米川主任教諭

小中学校の頃は、学校が苦手でしたが「総工」では皆勤賞です。部活などでも友達と楽しく過ごせ、一番仲の良い学年だと思っています。(建築コース・2年生)



定時制課程 進路指導部 主幹教諭 木村 淳先生

進路指導部の木村先生にお話を伺いました。

「1対1で生徒に向き合い、はじめからやり直せる環境を整えています。私自身が現場にいた経験から、体で覚えた基礎と自ら挑戦して得た自信が、将来の仕事の支えになると思い指導しています(木村先生)」

「総工」への見学・相談は、☎03-3483-0204にお問合せ下さい。

取材を通して、生徒に寄り添うあたたかい学びの実践を体感しました。生徒数が年々減少する定時制課程。選択肢の一つとして知っていただきたいという思いでご紹介します。また、近隣の工業高校、定時制高校を見直すきっかけになれば幸いです。



We are members!



在住協会員数

第14期 (2023年度)	会員数	前月対比	期首対比
1月	2,852	-3	+67

新規会員様のご紹介

- ・株式会社恒和工業 (栃木県)
- ・株式会社FKソリューション (大阪府)
- ・宮尾 公和 様 (東京都)
- ・新潟安全協会様 (23件)
- ・北大阪安全協会様 (2件)
- ・柏安全協会様 (5件)

新規入会の皆様

未永くよろしくお願い致します

お知らせ

／経営者・責任者の方向け／

経営サポート オンラインセミナー開催

今こそ、改めて災害に備え経営を守る！
事業継続計画の概要と策定方法を知る

日時 2024年4月22日 (月)

時間 16:00～17:30

開催協力 独立行政法人 中小企業基盤整備機構
災害対策支援部 災害対策支援課

申込方法 オンライン zoom配信



こちらのQRコードにアクセスし、お名前、メールアドレス、会社名のご登録をお願いします

本セミナーの3つのゴール

- ☑ 他社事例を知り、災害時に建設業に起きる事、社会に求められることを想定する
- ☑ BCPの概要をつかみ、中小機構の無料策定支援の依頼方法などを知る
- ☑ 他地域建設事業者との連携先検討として在住協ネットワークを活用する

概要を知り、実践ワークにも取り組む予定です。ぜひパソコンからご参加ください。



在住協事務局便り 会員調査ご協力の御礼 (鈴木より)

お忙しい中ご回答いただきまして、誠にありがとうございます。只今集計作業中です。皆様のご意見を漏れなく協会内で共有できるよう、正確な集計を心がけています。皆様のご意見を真摯に受け止め、今後の事業に活かします。



調査データ集計に追われる鈴木

／札幌・苫小牧の皆さま 回収のご協力を誠にありがとうございました！



札幌支部長 小堀さん

(24/1/23・24撮影) 苫小牧支部長 伊東さん (中央左) /会計 姥谷さん (中央右)



FAX講読ご利用中のみなさまへ

1. カラーで読みやすいメール講読へ変更されませんか？貴社名・ご担当者様名・メールアドレス明記の上、zairai@jtha.jp までご連絡ください。
2. 配信停止をご希望の場合は、会社名及びFAX番号、「通信配信停止希望」とご記入の上、FAXでご連絡下さい。ご連絡のタイミングにより次月も届く場合がございます。予めご了承下さい。



Find us on Facebook

フェイスブックでも配信中小友追加をお願いします！

